

ご意見と回答

提案・意見

ガソリン価格(回答:4月10日時点)

(2026年4月受付)

米国イスラエルによるイラン攻撃に対し伊勢市議会は無言を貫いている。ガソリンの暫定税率が無くなり少し安くなったと思った束の間イランは原油を積んだタンカーをホルムズ海峡を通過するに攻撃をしかけ世界中が困っている(イランの気持ちも判る米国やイスラエルは核を持ちイランに持たせない)

ロシアがウクライナを攻撃した時は県議会は批判していて米国とイスラエルを批判しないのは二枚舌

1.伊勢市議会は国の事と割り切って法的拘束力の無い案件に無言を貫いているように思います。

回答

伊勢市議会では、議員発議により令和4年3月定例会において「ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議」を可決しています。お話のありましたイランに係る事案につきましては、今後、各議員において判断されていくものと考えております。

議会事務局(2026年4月回答(4月4日~10日))

カテゴリ:その他>その他

ご意見と回答

提案・意見

続・「多様性と人権教育」について(課題と要望)(回答:4月10日)

(2026年4月受付)

昨年4月、「ルールを守ること」「他者を思いやること」「自由に責任を持たせること」は、自由で多様な社会の“共通の土台”だと意見しました。その追記です。

憲法13条では個人尊重と幸福追求権を保障していますが、今日とても不安なのが「自分本位の広がり」です。考えていただきたい視点が3つあります。

●『1.迷惑の多様性』

社会には“多様な人”がいます。愛煙家もいれば、嫌煙家もいる。タトゥーや奇抜なおしゃれの愛好者もいれば、嫌悪する者もいる。騒がしいのが好きな人もいれば、静かなのが好きな人もいます。

自分と他者で「幸福の形、迷惑の基準」は異なっています。社会の多様性の中に、「迷惑の多様性」も含めてほしい。

●『2.思いやりは双方向』

多様な社会は“思いやり”が大切ですが、その思いやりは一方方向ではないか、よく問いかけてほしい。

愛煙家は非喫煙者の幸福を、タトゥーや奇抜なおしゃれの愛好者はアンチの幸福を、騒がしいのが好きな人は苦手な人の幸福を、思いやる。逆もまた然り。

個人主義では「自分と同じくらい他者の権利も尊重」します。一方方向ではない、「思いやりは双方向」を求めたい。

●『3.自分本位と自他尊重』

多様な社会(ダイバーシティ)に広まってほしいのは、「自分本位ではなく、“自他尊重”」です。自分と他者、両方を大事にします。

多様性を尊重する社会では、「個性・自分らしさ」はポジティブであり、ネガティブな「自分本位・ご迷惑」と結びつけて考えなくなったと感じています。

みんなが幸福に暮らすため、学校や社会で「自分本位と自他尊重」をテーマに、よく話し合ってください。

●最後に申し上げます。21世紀は多様性(自分らしさ)を尊重する社会ですが、それを錦の御旗に“自分本位”を押し付けていませんか？行政には「自分と他者」について考える人権教育や啓発を、学校・地域社会に充実させてほしい。

個人尊重と幸福追求権(憲法13条)を行使するうえで、「迷惑の多様性」「思いやりは双方向」「自分本位と自他尊重」は、ぜひとも考えてほしい視点です。

回答

昨年度の回答と重なる部分がございますが、市内小中学校におきましては、道徳科の授業等をとおして「善悪の判断」「自由と責任」「親切、思いやり」「礼儀」「相互理解」といった道徳性を育む教育活動を実施しております。その際、自分本位ではなく互いの立場から物事を考える学習も行っております。また人権教育におきましても、自他の人権を尊重する実践行動力の育成をめざし日々取り組んでおります。

今後も、いただきましたご意見・ご要望を参考にさせていただき、自他尊重の意識を育む教育活動に取り組んでまいりたいと思います。

学校教育課(2026年4月回答(4月4日~10日))

カテゴリ:健康・福祉・子育て・教育>教育

ご意見と回答

提案・意見

五十鈴公園立体駐車場建設反対(回答:4月7日時点)

(2026年3月受付)

五十鈴公園の一角に建設するとのことですが、木は何本伐採されるのか正確に教えてください。

まさか建設予定地の周囲まで伐採するわけじゃないですか。

なぜここまで反対が多いのに市の担当課は推進するのですか。

市の見解として景観を破壊するようなことは一切ないとの認識なのでしょうか。

景観を司る担当課の市の担当者の意見を教えてください。

駐車場建設に伴い周辺の井戸水が枯れることはないのでしょうか。

川も汚染されるようなことはないのでしょうか。

井戸水が枯れるのかどうかと川の汚染があるのかどうかは建設を司る担当課の市の担当者の意見を教えてください。

建設にあたり周囲の自然の生態系に一切影響はないのか教えてください。

車の排ガスが増えることによる地域住民への影響を教えてください。

慢性的な交通渋滞を引き起こしているなかに立体駐車場を建設すると交通渋滞はさらにひどくなります。市の担当者の意見を教えてください。

回答

立体駐車場建設に伴う正確な木の伐採本数については、今後の建設設計によってわかってまいります。また、景観については、伐採本数を極力減らし、植栽を行うなど配慮してまいります。

井戸水の枯れや川の汚染については、建設に伴う調査設計段階において、十分調査等を行い、必要に応じて対応してまいります。また、自然の生態系においても法令等を踏まえ、必要に応じた調査等を行ってまいりたいと考えています。

車の排ガスについては、現在、周辺道路の渋滞によって発生していると考えています。立体駐車場の建設や既存駐車場を含めたキャッシュレス化・事前精算などによる駐車場の回転率の向上などの対策により、渋滞緩和・解消を図ってまいりますので、渋滞車両を減らすことが排ガスの減少につながると考えております。

交通政策課(2026年4月回答(4月4日~10日))

カテゴリ:まちづくり・インフラ>交通

ご意見と回答

提案・意見

介護施設から外室時のタクシー券(回答:4月7日時点)

(2026年3月受付)

妻が介護施設に入所しています。

去年まではリフト付タクシーで外室できていました。今年は施設に入所している人にはタクシー券がもらえなくなりました。

外室するためには施設の車ができません。妻がいつも楽しみにしていたのでごんねんです。来年は、外室できる様に改善お願いします。

回答

高齢者リフト付タクシー利用券は、在宅生活で寝たきり又は歩行について全介助を必要とする65歳以上の高齢者の外出支援を目的に実施しております。

令和8年度より、事業本来の目的である在宅生活の方を対象とさせていただき、通院送迎などを施設サービスの一環として行われる施設(介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院、障害者支援施設)へ入所中の方につきましては、高齢者リフト付タクシー利用券の対象外とさせていただいております。

高齢・障がい福祉課(2026年4月回答(4月4日~10日))

カテゴリ:健康・福祉・子育て・教育>福祉